

「資本主義の6つの限界——資本主義のシステムチェンジに向けて」

資本主義の限界を語る文献が増えている。地球温暖化に示される自然環境の限界、天文学的な貧富の格差と富の偏在、利潤率の著しい低下と投機やレントへのシフトなど、ちょっと考えただけでも、資本主義がこのまま存続することへの疑問が起こって当然である。私は『「資本論」とロシア革命』という著作で、「資本の4つの限界」さらに「資本の5つの限界」について語ってきたが、この連続講座では、さらに1つ増えて、「資本主義の6つの限界」という角度から資本主義の全体像を批判的に考察し、新しい社会への展望を探っていききたい。

時間 19:00～21:00

第1回 6/24(月) 資本主義の限界とは何か、資本主義の第1の限界

第2回 7/8(月) 資本主義の第2の限界と第3の限界

第3回 7/22(月) 資本主義の第4の限界と第5の限界

第4回 8/19(月) 資本主義の第6の限界と新しい社会の展望

講師

森田成也 (もりた・せいや)

國學院大學非常勤講師 経済原論担当。著書：『資本主義と性差別』（青木書店）、『資本と剰余価値の理論』『価値と剰余価値の理論』（作品社）、『家事労働とマルクス剰余価値論』（桜井書店）、『マルクス経済学・再入門』（同成社）、『ラディカルに学ぶ「資本論」』『「資本論」とロシア革命』（柘植書房新社）、『マルクス剰余価値論形成史』『ヘゲモニーと永続革命——トロツキー、グラムシ、現代』（社会評論社）。翻訳多数。

